

ケース9 保育園待機児童対策



議員 本市は、若い共働きの世帯が多く、保育園に子供を預ける家庭が多い中、待機児童の対応策は。(平成15年3月定例会一般質問)

こたえ



福祉部長 平成15年2月に新たに家庭保育室1カ所を指定したので、こちらの利用も考慮していただきたい。なお、平成16年4月開園を目指し、戸田公園駅前及び戸田駅前それぞれ1カ所の民設民営による誘致を進めていく。

そして



戸田市では、平成16年4月以降、民設民営の保育園、7園を開園し、640人の定員増を図りました。
また、市が指定する家庭保育室は、8室を新たに指定し、192人の増員を図るとともに、平成22年度から、保護者の経済的負担を軽減するため、保育料軽減助成金制度を創設して、保育料の一部を助成しています。
しかし、平成23年4月1日現在、保育園の待機児童は44人となっています。
市では、平成24年4月から、新たに民設民営による保育園が下戸田2丁目に開園予定されており、今後も保育園の新設や新たな家庭保育室の指定により定員拡大を図り、待機児童対策を進めることとしています。



▲平成23年4月に開園した「桑の実戸田公園保育園」(上戸田5丁目)



あれから〇年! あの質問はどっつなつた?

市の行政全般に対し質問できるのが、一般質問です。本定例会でも多くの議員が質問を行いました。もちろん質問して、それっきりとなるわけ

ではありません。担当部局で慎重に調査・研究し、実現に至らなかったもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど...

未永く友好関係を推進

中国開封市訪問団

本市と中華人民共和国開封市は昭和59年に友好都市を締結して以来、文化・教育・スポーツ・経済などの分野で相互交流が行われ、平成21年に25周年を迎えました。

戸田市議会では、10月17日から20日まで、4名の議員が訪問し、友好・親善を深めてまいりました。

この内容は11月28日の本会議で報告がありました。

【現況】

現在の開封市の人口は約530万人、面積は6400平方キロメートルと、広大な市域を擁する大都市で、今年に入り、中原経済区の核心都市となり、大規模な道路整備計画にも中国経済の急成長と今後見込まれる国内需要の拡大を強く感じました。

【表敬訪問にて】

開封市人民政府では、吉炳偉(きちへい)市長から、両市の交流の一環として戸田市議会と開封市人民代表大会との交流も行い、特に文化の分野での交流を一層進めていきたいとのあいさつをいただきました。

【開封新区の工場にて】

開封空分集団有限公司は1958年創建の空気分離装置製造業として、中国では大型かつ基幹的産業拠点であります。国産自動車生産企業である奇瑞自動車有限公司は、2010

年4月に開封市に進出し、年間20万台の自動車と8万台の軽トラックの生産を目指しており、開封空分集団有限公司とともに、後に続く進出企業の先導的な役割を發揮することが大いに期待されています。

【開封大学にて】

開封大学は1980年に公立の専門学校として創立され、海外の先進的な教育理念や教育方法を取り入れた積極的な国際交流を同大学の特色の一つとして展開しております。

私たちが今回強く希望した日本語を学ぶ学生との懇談が実現し、約40人の女子学生と4グループに分かれ、両国の教育・文化・社会生活・食・祭りなど、多方面に及ぶ対



▲開封大学の学生との懇談

話が広がりました。皆すっかりとした日本語を操り、旺盛な知識とさわやかで真摯な対話の時間は、興味深く貴重な体験となり、今回の友好交流の大きな成果の一つとなりました。

【結びに】

戸田市と開封市は、四半世紀にわたり友好都市として友情と交流をはぐくんできましたが、今後もこうした友好関係を推進するとともに、開封市と開封市民の発展と繁栄を祈念いたします。

白河市と交流、友好の絆を深める

議員互助会では、11月11日、友好都市であり、災害時ににおける相互応援協定も結んでいる福島県白河市との議員交流会を白河市で開催しました。

市庁舎でのオープニングセレモニーで温かい歓迎を受けた後、小峰城と白河市歴史民俗資料館を視察しました。小峰城には東日本大震災による崩落の跡がいまに残っており、どれほどの地震だったのかをうかがい知ることができました。続いて行われた意見交換会で、戸田市議会は平成15年の設置以来続けてきた議会改革特別委員

会の取り組みについて発表し、白河市議会からは東日本大震災による原発事故に伴う風評被害についての発表がありました。その後の情報交換会では、両市の現状・課題などを熱く語り合い、交流を深めました。両市の絆を確認し、今後につながる、大変有意義な交流会となりました。



▲白河市の議員とともに